

4年生用 ゼミコースアウトライン

2018 年度

Instructor: 川原功司 (Koji Kawahara)	Time: W 9:10 - 10:40 (expected)
Email: kkoji@nufs.ac.jp	Place: TBA

ゼミタイトル: 教育社会学

キーワード: 教育学, 社会学, 統計, 日本人と英語, アメリカとイギリスの大学

授業の目的: 「日本では勉強して学歴を身につけられれば出世できる」、「日本は平等な社会である」、「現代はグローバル化社会だ」、「これからは英語が必要だ」、「英語が使えれば出世できる」。これらの言説は事実なのでしょうか、それとも誰かが勝手に言って広まった都市伝説なのでしょうか。このゼミでは、信頼性のある資料と統計データに基づき、そこから妥当な結論を導き出すという経験科学の基本を身につけ、現代日本が抱える社会的問題について批判的に考察する訓練を行います。

授業概要: 初回は担当教員が説明します。その後、課題文献ないしは各自で調べたい文献に基づいて発表・議論する形で進める予定です。発表者は自分の担当の際には十全な準備をしてくること。成績評価は、主に発表とハンドアウトの内容と授業内での発表を基準にして決定する予定です。なお、扱う予定のテーマは以下の通りです。

学歴主義と平等神話: 日本はメリトクラシー（業績主義）の国と言われますが、社会階層と学歴の相関関係を調べていくと、意外な事実が分かります。社会格差はこの国にあるのでしょうか。あるとすれば、いつからなのでしょう。

教育と平等: 戦後の大衆教育社会の定着について考えていきます。教育の平等は実現できているのでしょうか。

教員勤務の実態と教育政策の問題: 教育の平等・不平等、そして最近の教育改革について考えていきます。「ダメ教師にムチ、優れた教師にアメ」、「自己実現」、これらのキーワードは教育に有効だったのでしょうか。

海外の大学の实態: 分析ではありませんが、知識として海外の大学について知る価値はあるかと思えます。一例として、アメリカの大学とイギリスの大学の現状について詳しくみていきましょう。

日本人と英語: 日本人と英語にまつわる「お話」について真剣に考えていきます。検証するテーマは以下の通り。英語力の国際比較（日本人は世界一の英語下手か?）、英語使用（どんな人が英語を使っているか?）、英語学習熱（語学ブームは実際どれだけのものなのか?）、必要性（これからの社会人に英語は不可欠は本当か? 英語ニーズは本当に増加しているのか?）、賃金（英語ができると収入が増えるのか?）、職業機会（英語力はどれだけ武器になるのか?）、早期英語教育熱（小学校英語に賛成しているのは誰か?）、早期英語学習の効果（早期英語経験者のその後は?）。

小学校英語:小学生に英語は必要か? 実施可能なのか?

テーマと課題: 「世間でよく言われている」、「先生が言った」等のお話は、よく考えると根拠のないことなのかもしれません。小さい頃から疑問に思いつつ、どこか納得のいかないことは一つや二つ、ないしはそれ以上ないでしょうか。このゼミでは、信用性のあるデータを積み上げてそこから結論を導くという学術活動の基本を身につけていきます。結論を最初から決めつけるのではなく、データが語る道筋に沿って自分の考え方や価値観を変えていく訓練をするのが目標です。